

京都市図書館で本を借りよう！

- ◆図書館カード1枚で10点まで（CD・DVDは2点まで）2週間借りることができます。
- ◆中学生以上の方はカードを作るときに、名前と住所を確認できるもの（生徒手帳など）が必要です。
- ◆ほかの人が借りている本や、ほかの図書館にある本を読みたいときは、予約ができます。
- ◆読みたい本が見つからないときや、調べものに使う本をさがすときなど、本や図書館のことはなんでも図書館の人に聞いてください。

京都市向島図書館

伏見区向島二ノ丸町151-35 ☎075-622-7001
 開館時間：午前9時30分から午後5時まで

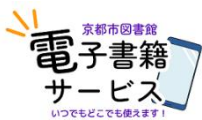
木曜日（祝日以外）…午前11時30分から午後7時まで

午後5時から午後7時までは、こどもだけで図書館を利用することはできません。かならず大人の人といっしょにきてください。

休館日：毎週火曜日（火曜日が祝日のときは、その次の平日）
 年末年始



「ティーンズニュース」のコーナーをチェックしてね♪



京都市向島図書館ホームページ (QRコード→)
<https://www2.kyotocitylib.jp/向島図書館>



京都市図書館公式X(Twitter) (QRコード→)
<https://twitter.com/kyotocitylib/>



向島図書館 Teens だより



<新しく入った本>

『異聞今昔物語 話を集める少年と消えた少女』

森谷 明子／作 佐竹 美保／絵 偕成社

平安時代。都で暮らす草太は、話を集めているお坊さんと出会った。その魅力にひかれ、草太も話を集めていくことに…。
 「今は昔」このフレーズから始まる今昔物語をちりばめています。さまざまなお話がキーとなり、事件を解決していく小説です。



『2040年のハローワーク 5分でわかる私たちの未来の仕事』 関子 慧／著 KADOKAWA

未来研究所では、将来についてのカウンセリングを受けることができます。アドさんの夢はジャーナリスト！自分に合っているかをAIに判断してもらうことに…。
 未来の職業についても紹介しています。どんなものがあるかみてみよう！



『スアレス一家は、今日もにぎやか』

メグ・メディナ／著 橋本 恵／訳 あすなろ書房

メルシは、家が貧しいために学費を免除され、名門校に通っている。その代わりにボランティア活動をしなければならない。男子と組まれたせいでいやがらせを受けたり、家ではおじいちゃんの様子がおかしくなったり…。

“以前と同じまま”であることはどうしても無理なこと。なにがあらうとだいじょうぶと思うことに決めた。メルシの成長する姿が清々しいです。



『ひとりあそびの教科書』 宇野 常寛／著 河出書房新社

ひとりであそび、ものごとや場所と向き合ってみる。すると、お金を儲けることや他の誰かに勝つこと、人間関係で認められることだけが世界に触れる方法じゃないことがよくわかる。より自由に、気持ちよく世の中を生きられると思います。「ひとり」であそぶ時間があつたほうがいいですね。



『なんで人間にはしっぽがないの？ 二度の喪失の物語』

東島 沙弥佳／著 久米 火詩／画 新泉社

進路に悩む千鶴は、「しっぽ学」の研究をしていたお婆さんの生き方を知ろうと、京都大学の研究室をたずねることに。教授たちから話を聞くうちに新しい世界が見えてきた！人も胎児のときにしっぽが存在するって知っていた？ 将来のこと、カラダの不思議について学ぶことができる1冊です。



『SNS時代のメディアリテラシー ウソとホントは見分けられる?』

山脇 岳志／著 筑摩書房

「その情報本当に信じて大丈夫？」
ニュースや投稿、生成AIなど情報があふれるSNS時代。誰でも発信できるからこそ、信頼できるものを選ぶのは難しい。この本ではメディアの仕組みを学びながら、情報と上手につきあい、自分の人生に活かすための「メディアリテラシー」を身につけていきます。



『透明なルール』 佐藤 いつ子／著 KADOKAWA

主人公、優希は友達との付き合い方や教室で“空気”を合わせることを気にするあまり、生きづらさを感じていた。そんな自分を縛る<透明なルール>に気づき、少しずつ向き合っていきます。息苦しさや自分の心のモヤモヤした気持ち、それを言葉にすることに勇気をくれるお話です。



『黒猫 ポー短編集』 エドガー・アラン・ポー／原作 にかいどう 青／文 スカイエマ／絵 ポプラ社

作者の名前はどこかで聞いたことはないかな？
日本の作家、江戸川乱歩（ペンネーム）の由来になったのがこの作者。「黒猫」をはじめ、6話からなる短編ホラー小説。読むたびにゾクッ！200年前の作品だとは思えない、黒々とした呪力が宿っています。

